



第 11 号

R2.7.7

文責 倉迫

建学 145 年

## 人権学習の取組み

今回からは、各学年の「人権学習」の内容や子どもたちの反応を載せていきます。

◎ 2 年生

【題材名】 およげない りすさん  
(道徳科 友情・信頼)

【学習内容】

りすを仲間外れにして悲しませ、自分たちだけで遊んでも本当に楽しくないこと、みんなと仲良く遊んだほうが楽しいことに気づき、友だちと仲良く助け合おうとする心情を育てる。

【子どもたちの反応】

○ 仲良くしたほうが楽しい。

○ りすさんの気持ちに気が付いてよかった。

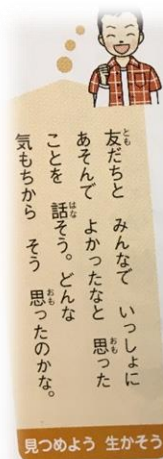
○ りすさんが悲しい気持ちから嬉しい気持ちになれてよかった。

○ 「りすさんは、泳げないからだめ。」と仲間外れにしてしまったのはよくない。

○ やっぱりみんなの方が楽しい。



りすさんは、およげないからだめ。」



「りすさん、ぼくのせなかにのりなさいよ。」

◎ 3年生

【題材名】 みんな あるある いいところ

【学習内容】

- ① 事前アンケート「自分にいいところがありますか？」理由も合わせて調査
- ② 金子みすゞさんの「みんなちがって みんないい」の詩を紹介し、誰にでもいいところがあることを話す
- ③ 前に書かせておいた、友だちのいいところカード（グループごと）を渡し、友だちから見た自分のいいところを知る
- ④ 学習後の感想を書いて、発表する

【子ども反応】

- 自分には、いいところがないと思っていたけど、友だちが教えてくれて自信がつけました。
- 自分では、字がきれいと思ってなかったけど、そこをほめられてびっくりしました。
- みんなからほめられてうれしかった。もっと頑張りたい。
- カードに書いていない友だちにもきっといいところがあると思うので、探してみたい。

※ まだよく知らない友だちの「いいところ探し」をやってみるのもいいですね。

私と小鳥と鈴と  
金子みすゞ  
私が両手を広げても  
お空はちつとも飛べないが  
飛べる小鳥は私のように  
地面を速くは走れない  
私がかからだをゆすつても  
きれいな音は出ないけど  
あの鳴る鈴は私のように  
たくさんな唄は知らないよ  
鈴と、小鳥と、それから私  
みんなちがって  
みんないい

五福小学校  
「みんなでがんばること」

「傷つける 言葉は言わない」

五福っ子

「人権月間」に様々な学習をしましたね。  
大切なことは、生活の中で学んだことを生かせるかです。

熊本市人権教育の目標

「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができるようになり、それが具体的な態度や行動に現れるようにすること」

五福小学校 「みんなでがんばること」	
	じ ぶん いのち じ ぶん まも
<b>自分の命は、自分で守る</b>	
1	げんき すす 五福っ子 元気よく、「進んであいさつ」
2	かなら へんじ から よばれたら、必ず「はい」の返事から
3	しりよく しい 姿勢 ベタッ・ピン・ゲー、視力もアップ「いい姿勢」
4	みぎがわ あわてない！「廊下は歩く」右側を
5	こころ むごん そうじ ぴかぴかに、心もみがく「無言掃除」
6	なら ありがとう！きれいに並んだ「くつとスリッパ」
7	ます ことば いご 五福っ子 「傷つける 言葉は言わない」